

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	RISE			
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1		～	R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37世帯	(回答者数)	30世帯
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		～	R7年 12月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自己選択・自己決定の機会を多く設定し、色々な経験を繰り返し、仲間と挑戦・調整・達成する力を育むことを期待出来る場であること。	常に子どもたちが主体的に考え、選択し、達成できる事を目的とし、取り組み・活動を工夫している。また、マンネリ化を防ぐためにも情報収集を重ね、他事業所支援員からの助言を頂ける研修を実施している。	取り組み方のバリエーションを増やすために、研修に参加する。達成出来る様に、支援者が介入する方法を検討していくこと。
2	多職種支援者の視点から、ひとりのこどもについて多角度から考えた評価と支援を提供して行けること。	毎日の支援後の振り返りを充分に行い、次の支援へと活かす取り組みを欠かさない。	支援者が自分の職種に満足せずに、更に広い視点・視覚で捉えられる様に学びを深める。また、その機会を提供する。
3	同じ学校区とのお友達との助け合いが、毎日の学校生活で活かされる様に、同じ学校区の児同志で支援日を組む等の調整を行っていること。	学校生活の様子も情報収集に努め、必要に応じて児同志の関係性を向上出来る様に関わっている。	学校のご理解とご協力を得て、学校訪問に組み込み、学校生活の様子を知りえて活かせる様にする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	始良市の端に位置することで、支援に対応する送迎に時間を要すること。	有効な必要な支援時間を確保しなければいけない。また、送迎時間が長くなれば長くなるだけ、事故等のリスクが高まること。	安全目つ出来るだけ短時間のルートを確認する。送迎時間に余裕を持って送迎任務にあたる。子どもたちが安全にシートベルトを使えるように、正しい着用方法を学ぶ。子どもたちにもシートベルトの必要性を指導する。
2	施設外体験支援を達成する為の時間が、2時間以上設定出来ないこと。	施設外体験を達成する為、保護者様のご理解とご協力を得ること。	施設外目的地まで保護者様の送迎のご協力をお願いする。
3			

公表 養育者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 RISE

公表日 R8年 2月23日

利用児童

数 37

回収数 30

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30				室内も外ものびのびと活動が出来るスペースがあり、子どもも楽しんでいます。	大きな窓から差し込む日差しを有効に浴びて、身体面も整えていきます。また、常に安全性を確保できる様に努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28	1		1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく快適にその環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	30				とても良い空間だと思います。	清潔で気持ちよく過ごせるように、掃除や整理整頓に努めます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30				苦手な事でも意欲を引き出して挑戦させてもらい助かります。子どもに寄り添う支援をしてくださっていると思う。	更に専門性を高め、子供の課題に対応していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29			1	客観的に分析されているかとは思いますが、あまり伝わらないです。	保護者様が安心して支援を受けて頂けるように、目付ガイドライン内容が理解して頂けるようにお伝えの方法も改善していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30				子どもの意見を尊重しながら工夫した活動をしてくださり、とても楽しんでいる。子供の意見や体調を考慮して頂いていると思います。毎回、楽しい活動を考えていただき楽しんで通っています。課外活動なども多く、色々工夫されていると思います。	保護者様が安心して支援を受けて頂けるように継続していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	20	5	1	4	相撲など地域の人との関わりがあった良かったです。運動会イベントで他校の友達と活動を楽しめた良かったです。誘っていただいてありがとうございました。	今後も地域の方々との関わりがある企画を増やしていき、お互いに安心して過ごせるようにしていきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29			1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	3	1	5	自分自身が忙しくイベント等に参加できていない。	保護者様が興味を持って参加して頂ける機会を設け、必要に応じてセンター主催の研修の案内を提案していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	29			1	送迎時やLINE、面談でしっかりコミュニケーションを取って頂いて安心しています。いつも細かく伝えてられています。活動の様子や成長した事など丁寧に教えてもらい、こちらの話も聞いて頂いています。	今後も共通理解が出来る様に、言葉使いにも気を付けてお伝えしていきます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	1		1	親にも寄り添い、専門的な視点からの助言と温かい言葉を頂き感謝しています。不安要素がある時に、話し合いの場を設けて頂けて感謝しています。LINEを利用した活動報告で把握できています。	今後も定期的な面談を継続し、共通理解のもと支援を展開し、言葉使いにも気を付けてお伝えしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	8	4	9	姉や弟の事に関して目も向けず助言を下さったり、とてもありがたいです。 不要です。	必要に応じて、ご家族様からお聞きする中で多方面に向けて支援の視線を広げていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	2		2	親にも寄り添い、専門的な視点からの助言と温かい言葉を頂き感謝しています。	保護者様が安心して支援を受けて頂けるように継続していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1		1	子どもからの話では情報が伝わらず、分からない事が時々あった。	ご理解いただけているか、不安な点はないかを確認していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28			2	SNSでの情報収集をしてくださっていて、活動内容や様子がわかり嬉しいです。 SNSでの発信は不要だと考えています。	保護者様のニーズを把握し、不安要素なく対応できるように、細心の注意を払います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	2		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、初犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	3		8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	3	1	9		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	1		2	事が起きたことがないが、何かあった際はきちんと対応してもらえるだろうと安心していきます。	保護者様が安心して支援を受けて頂けるように継続していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30				先生方に色々配慮して頂き通うことが出来ています。子どもが楽しんで先生たちを信頼しているのが凄く分かります。	保護者様が安心して支援を受けて頂けるように継続し、楽しく成長出来る機会を多く提供していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	2			支援が大好きで利用日を楽しみにしています。崩れてしまう事もありますが楽しみにしています。休校日の利用は崩れやすいが、とても楽しみにしています。	これからも楽しく成長出来る機会を多く提供していきます。また、週間スケジュールを考慮し、支援利用日を変更していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	1		1	様々なプログラムを考えて丁寧な対応として支援をして下さり感謝しています。丁寧に支援を頂いていおり、ありがとうございます。親子共々ありがとうございます。ずっとこちらでお世話になっていきたいと思っています。子どもファーストで愛情を持って接して頂いて嬉しいです。毎日に送迎の際の活動報告が、他の形だとありがたいです。口頭での説明はあまり望みませ	保護者様のニーズに応じての対応も必要だと痛感しています。皆様に安心して支援を受けて頂けるように、日々努めます。

公表施設における自己評価結果

事業所名		RISE		公表日		R8年 2月23日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		危ない所などマットなどを使って工夫している。	使用が重なり劣化しそうなところを中心に、安全点検を行うことを継続していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			楽しく支援を展開できる様に、支援者自身が心身共に健全に保てるように努めます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	どちらももいえないが、その都度話し合い対策を立てている。子どもによってパーティションなどで空間を仕切る必要が	環境設定変更を積極的に行っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	過去にあったかもしれない。	ご家族様や相談支援員様、他事業所の支援員をお招きし、客観的な評価を頂き、業務改善に繋げます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	計画作成時間を確保して進めていきたいと思う。	期日前に課題検討を行い、計画立案に努めます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	時期がずれている事があり修正します。	日々の支援にも計画が反映し発展するように支援を展開します。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか 。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせる支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		就学前に利用していた園での情報共有が 少ないことがある。	必要な情報を確実に収集出来る様に、地 域の関係機関との連携に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	5	1	児童クラブとの交流は今後検討する必要 がある。同会社内の事業所間で連携して イベント等を行っている。	支援利用児の利用している児童クラブさ んとの交流をを企画していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	6				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		関係病院や行政、センター主催の研修会 などを積極的にご案内していきます。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	6				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者 の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ て、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5	兄弟同士での交流は今後、検討する必要がある。	親子で参加型のイベントを企画し、保護者様同士が関われる機会を設けていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	予防接種までは確認していなかったため、今後確認する必要がある。	保護者様の必要性に応じてや、災害時に備えて常時内服役を管理することを継続していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			